

## 2019 年 メンター一覧

---

- 安達 俊久

グローバル IoT テクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長

富山県生まれ。1975 年東京工業大学電気工学科卒業後、伊藤忠商事に入社。産業電子機器部で電子機器の欧米への輸出業務を担当。1982 年から 1988 年まで英国ロンドン駐在し、欧州市場の開拓と拡販に寄与。1990 年からは、欧米のハイテクベンチャーの日本市場の商権獲得と関係強化に従事。1995 年から 2002 年まで、伊藤忠テクノソリューションズでビジネス開発部長、事業企画室長を務め、国内外の先端 IT ベンチャー起業家及びシリコンバレー Sand Hill Road VC との幅広い人脈を構築。2002 年から 2015 年まで、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ代表取締役社長として、3 本総額 211 億円の VC ファンド運営責任者を務める。2011 年から 2014 年まで、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会の会長を務め、規制緩和とベンチャー成長戦略の提言、実行に貢献。2010 年から 2012 年まで、法制審議会会社法制部会委員、2014 年には金融審議会リスクマネー供給の在り方に関する WG 委員を務める。



- 石倉 大樹

株式会社日本医療機器開発機構 取締役 CBO

医療分野での起業・新規事業開発に特化。自ら創業メンバーとして参画した創薬ベンチャー・アキュメンバイオフィーマは、日本で初めて大学発の技術を事業化した会社として上市(欧州)に成功。その後は医療 IT ベンチャー・エムスリーにて、製薬企業及び医療機器メーカーの治験を加速化させる IT サービスの新規事業開発をリード。スタンフォード大学経営学修士課程(MBA)留学中には、Medicine X の

Innovation Sourcing Team として、mHealth 及び Health Tech の startup を投資検討し、Biodesign プログラムも経験。現 P5,Inc.取締役。平成 27 年度東京大学大学院薬学系研究科非常勤講師。



- 潮 尚之

ITPC (International Technology Partnership Center) プリンシパル

シリコンバレー及び東京を拠点として、米国の有望なベンチャー企業の発掘と日本進出のサポート、オープンイノベーションを推進する日本企業の海外動向調査やベンチャー企業との協業サポートなど、インターナショナル・ビジネスデベロップメントの専門家として活動中。専門分野はオートモーティブ、セキュリティ、画像処理、センサ、デバイス、IoT、AgTech など。

また、NEDO-TCP、III 未来、STERRA Yamanashi、けいはんなリサーチコンプレックス及び大阪イノベーションハブのなどの産官学連携プロジェクトのメンター、大阪府立大学 EDGE プログラム・シリコンバレー代表、東京大学 TLO アドバイザ、関西大学 SmartFinder プロジェクト・アドバイザー及び JETRO San Francisco 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム・コーディネーターなどを担当し、産官学連携推進、大学発技術ベンチャーの事業化及び日本の中小企業の米国進出なども支援。

2006 年に独立するまでは、松下電器産業(現パナソニック)において、ITS(高度道路交通システム)をはじめとした様々なビジネス・技術分野でのグローバルな事業開発やアライアンスを推進。米国(シリコンバレー及びプリンストン)駐在時には、ベンチャー企業や大学との技術連携推進の責任者を担当。慶応義塾大学文学部人間科学専攻卒。



- 大木 美代子  
Serend プリンシパル

日本 IBM でグローバルマーケティングに従事後、私費留学で渡米。ビジネス修士号取得後、シリコンバレーの大小様々な IT 企業で、グローバルビジネス開発に携わる。2013 年 1 月に独立、コンサルティング会社 Serend(<http://www.serendinc.com>)をスタート。アメリカ、アジアのスタートアップ、中小企業、大企業、アカデミア、政府機関などに対して、機会創出支援、戦略設定、ハンズオンのマーケティング業務のサポートなどを行っている。



- 大矢 将人  
凸版印刷株式会社 経営企画本部フロンティアビジネスセンター戦略投資推進室  
課長

2000 年東京大学大学院工学系研究科修了。凸版印刷入社。産業資材、医療医薬包材、ディスプレイ用光学部材の研究開発に従事。2010 年より、経営企画本部で主に投資評価プロセスの構築・投資管理業務を担当。現在は、同本部にてベンチャー出資や新事業開発支援に取り組んでいる。2017 年に国立研究開発法人新

エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。



- 岡田 朋之

Tortuga Pacific Inc. ビジネス開発担当 VP

WiTricity Corporation エグゼクティブディレクター

JABI (Japan America Business Initiatives) 理事、ナビゲーター

米国モトローラにて携帯電話開発エンジニア、設計開発チームのマネージャーを経て、日本モトローラに赴任。新規 R&D プロジェクトマネージャー、次世代携帯電話技術部長、モトローラジャパン PCS 事業部長、常務取締役を経て、米国に帰国。シリコンバレーにて携帯電話 OS のスタートアップ、組み込みソフトウェア企業の米国社長兼役員やシリコンバレーベンチャー企業の社外取締役を経験。現在はワイヤレス、ソフトウェア、IoT、半導体関連の技術営業やビジネスコンサルタントとして活動中。シリコンバレーを拠点に、日本のスタートアップ及び中小企業の米国進出支援、大企業のグローバルマネジメント支援を行っている。経済産業省委託事業の 始動 Next Innovator メンターも担当。アリゾナ州立大学電子工学科卒。



- 小柴 亮典

株式会社東芝 技術・生産統括部 知的財産室／技術企画室 参事

1996年東京大学大学院工学系研究科を修了し、株式会社東芝に入社。研究員として米国ベンチャーに駐在し、ベンチャー企業のスピード感とM&Aの活発さを体感。現在、知的財産を用いたビジネス価値を最大化する戦略企画業務に従事しながら、オープンイノベーションを活用した社内スタートアップ制度の企画運営を担当。社外の複数のアクセラレーションプログラムのメンターも務める。2017年度国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。



- 三枝 裕和

S.A.I&Company LLP 代表パートナー株式会社

サエグサコオート工業 代表取締役

東京大学大学院経済学研究科(企業・市場専攻)修士課程修了。株式会社日本総合研究所やPwCアドバイザリー合同会社で経営戦略立案、新規事業開発、事業再生など幅広くコンサルティングを経験した後、リクルートグループに入社。Webマーケティングの新規事業戦略担当マネージャーとして事業を推進。現在はS.A.I&Company LLPを立ち上げ、コンサルティングやベンチャー企業への出資・育成を手掛けながら、家業であるサエグサコオート工業を二代目として引き継ぎ、経営革新に日々取り組んでいる。



- 坂本 大  
パートナー  
ベナモー・グローバル・ベンチャーズ

30年以上の駐米経験を通して、環太平洋地域における事業戦略構築、ベンチャー投資、ビジネスインキュベーション、クロスボーダーM&A・事業提携などに取り組む。NECのグループヴァイスプレジデントとして、ITサービス分野のコーポレートベンチャーファンド設立などの業務に従事。Niteo パートナーズ社役員、オープングループ社 役員、エンタープライズネットワーク、ビディエントシステム社の役員、そしてサステイナブルシリコンバレー(NPO)の会長を歴任。現在3Com やパームコンピューティング社を創業したシリコンバレーのベテラン起業家であるエリック・ベナモーが率いるベナモー・グローバル・ベンチャーズのパートナー、ベイエンジェルのボードアドバイザーはじめ日本企業や米国スタートアップの顧問を務めながらシリコンバレーにてベンチャー投資やスタートアップの事業支援に従事。また、ビジネス以外の面でハーバードビジネススクール北加州協会のボードメンバーとして社会貢献活動を行っている。



- 瀬川 秀樹  
クリエイブル 代表

(株)リコーに 32 年半勤め、光ディスクの精密加工技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けてきた。

近年では、これからの世界にとって非常に重要である BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。2014 年 9 月に(株)リコーを退職し、「新規事業のコンサルティング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。事業戦略策定のメンタリングや多くの講演・研修・Workshop 等を手掛けている。



- 竹居 邦彦  
A Tech Ventures 株式会社 代表取締役

1986 年中央大学経済学部卒業、青山学院大学国際ビジネス専攻・ファイナンス課程終了、2001 年より独立系ベンチャーキャピタルでインベストメントマネージャーとしてハンズオン型投資業務に従事。ダブル・スコープ株式会社 (WS) は 2005 年リチウムイオンバッテリー用セパレーターの開発・製造を目的に設立。WS は投資先の 1 社、会社設立と同時に代表取締役に就任。WS は 2011 年 12 月東証マザーズ上場、2012 年 3 月より取締役・CFO に就任、2017 年 3 月退任。2017 年 A Tech Ventures 株式会社を設立と同時に代表取締役に就任、DeepTech 領域のベンチャー企業への投資、コンサルティングなどを行っている。投資の経験と実

際にベンチャー企業を経営し投資された経験を持つのが特徴、投資した金額・投資された金額の累計は 400 億円を超える。マイクロ波化学株式会社監査役、千葉大学工部修士コース:ベンチャー論非常勤講師



- 田所 雅之

ベーシック チーフストラテジーオフィサー ユニコーンファーム CEO

これまで日本と米国シリコンバレーで合計 5 社を起業してきたシリアルアントレプレナー。米国シリコンバレーのベンチャーキャピタル のベンチャーパートナーを務めた。Pioneers Asia というグローバルスタートアップイベントのスタートアップ責任者を務めるなど、これまで 2000 社以上の世界中のスタートアップを評価してきた。現在は、国内外のスタートアップ数社の戦略アドバイザーやボードメンバーを務めながら、日本最大級のウェブマーケティング会社 ベーシックの Chief Strategic Officer を務めながら、事業創造会社のブルーマリンパートナーズの Chief Strategic Officer も務める。2017 年にスタートアップ支援会社である Unicorn Farm を立ち上げた。

世界で累計 7 万シェアされたスライド "Startup Science"、発売後、3部門(経営、起業、イノベーション)で 42 週連続ベストセラー1 位(2017 年 11 月 2 日~2018 年 8 月 15 日)になった書籍 "起業の科学 スタートアップサイエンス"の著者である。





- 津嶋 辰郎

株式会社インディージャパン代表取締役 マネージングディレクター

大阪府立大学航空宇宙工学修士。小学校時代に少年剣士として日本一を達成。大学時には人力飛行機チームを創設し、鳥人間コンテストでは2度の優勝と日本記録樹立を果たす。その後、レーシングカーコンストラクターである童夢に参画し空力デザイナーとしてシリーズチャンピオンを獲得。半導体製造装置ベンチャーのスタートアップメンバーとして事業立ち上げを先導の後、iTiD コンサルティングに入社。国内大手メーカーの新規事業立ち上げ支援、新製品開発支援など多数実績を持つ。現在はクレイトン・クリステンセン教授設立の INNOSIGHT の日本唯一のパートナーでもある INDEE Japan を設立し大手企業における新規事業立ち上げを支援。またアクセラレーションプログラム ZENTECH DOJO を設立し、社会的に意義のあるハードコアテクノロジーに注目したアクセラレーションを行っている。不確実性の高い事業立ち上げプロセスを分かり易い体系で伝えるだけでなく、それに不可欠なマインドセット、哲学および当事者の思いを重視するスタイル。理論はあくまで共通言語、実践こそが価値を生み出すと考える、自らもゼロイチの世界に最大の価値を感じる起業家である。



- 中嶋 泰雄

特定非営利活動法人 産業技術活用センター 監事

東北大学研究推進本部特任准教授。2013年から東北大学にて東京大学・京都大学・大阪大学・東北大学の技術シーズに特化したテクノロジーベンチャー育成を目指す新たな官民ファンド(文部科学省大学出資事業)の企画制度化を担当。それ以前は、日立製作所のコーポレートベンチャーキャピタルにて、ベンチャーキ

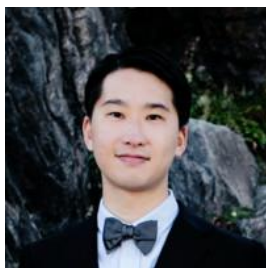
ヤピタル子会社を設立し、パートナーとして IT、材料デバイス分野等に投資。スタートアップから上場ベンチャーの投資先企業の運営やアライアンス構築など事業開発をハンズオン支援。日立グループで事業やシステム企画、PMI 等。東京大学大学院工学系研究科テクノロジーマネジメントコース派遣。経済産業省のベンチャー関連の委員、中小・ベンチャー企業支援や技術移転の団体などのアドバイザー等として、オープンイノベーション、エコシステム構築、起業家支援、教育等を推進。法政大学経卒。



- 萩原 惇允

SyntheticGestalt Ltd. Co-Founder & COO

京都工芸繊維大学(工学)卒業後、Object of Null を創業、代表取締役役に就任。大手企業の研究開発機関(R&D) 向けのコンセプト設計(バイオ、人工知能、自動運転など)を担当。法政大学 キャリアデザイン学部 産業文化論 及び Apple Japan 本社 社内向け特別講義「Creative Salon」にて特別講師を務めた。2017 年 NEDO「Technology Startup Supporters Academy (SSA)」を修了。2018 年より内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 2 期 スマートバイオ産業・農業基盤技術担当 戦略コーディネータを務める。



- 秦 充洋  
株式会社ミレニアムパートナーズ 代表取締役

ボストンコンサルティンググループ(BCG)にてプロジェクトマネジャーとして通信、電力、自動車など幅広いプロジェクトを指揮、また起業家としてベンチャー企業の創業・経営・上場経験を持つ。現在は起業家育成・大企業の新規事業支援など、幅広く活躍。一橋大学大学院 MBA コース(HMBA)講師、グロービス経営大学院講師。著書「プロ直伝！成功する事業計画書のつくり方」(ナツメ社、2015年)



- 林 光洋  
株式会社ベータカタリスト 取締役

1994年4月、藤田観光株式会社に入社。2003年12月に株式会社ディー・エヌ・エーに入社。子会社社長を経て、2007年執行役員 EC 事業本部長に就任。大手企業との JV 設立や協業を手かけ黒字化まで推進。2013年3月に同社を退社後、ベンチャーや大手企業の各種プロジェクトを支援。2015年4月株式会社ベータカタリスト取締役に就任。



- 廣川 克也

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャー

財団法人 SFC フォーラム事務局長

SFC フォーラムファンド ファンドマネージャー

1993 年上智大学経済学部卒業。同年住友銀行入行。

1998 年通商産業省出向、債務保証審査事業、全国新規事業発展基盤調査事業、起業家精神涵養教材開発事業等に従事。2000 年 7 月銀行復帰、成長企業取引推進担当となり、ベンチャー企業、株式公開志向企業に対する将来性評価による融資業務を担当。2004 年 1 月同行退職、同年 2 月より北海道大学知的財産本部着任。2005 年 12 月より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャーとして着任、起業家に対する事業計画作成、資金調達、販路拡大支援等を実施。2008 年 4 月より KIEP 研究コンソーシアム事務局長を兼任。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009 年、2010 年には GlobalTic @台湾でアジア最優秀賞、2009 年 I2P Global Competition ではチームを世界一に導く。2012 年より財団法人 SFC フォーラム設立、事務局長就任。2016 年より SFC フォーラムファンド ファンドマネージャー就任



- 本藤 孝

QB Capital 代表パートナー

FGC 代表パートナー

外資系大手コンサルティング会社にて、IT及びマネージメントコンサルティングに従事し、数々のプロジェクトに携わる。その後、大手ベンチャーキャピタルにてヨーロッパ、イスラエルへのスタートアップ投資を行う事業部の立ち上げメンバーとして

参画する。フランスのベンチャーキャピタルへの出向などを含め、数々のスタートアップ投資を実施し独立。ベンチャーキャピタルのFGCを創設し、55百万ドル(約65億円)のファンドを組成。同社の代表パートナーに就任し、国内外への投資に関わり、投資先の取締役を歴任。会社設立以前から相談を受けるなど徹底したハンズオンを実施。シード段階からの出資も手掛け、投資先数社のファウンダーメンバーとして創業し経営に参画。主に九州の大学関連の案件(共同開発を含む)、及び九州出身者など九州に関連した案件に投資を行うQBキャピタルを創設し、QBキャピタルの代表パートナーに就任。30億円のファンドを組成した。15年以上にわたりスタートアップへの投資を行っている。

Eastern Michigan University BBA in Marketing 卒 同大 MBA in Finance 修了



- 前田 信敏

NV Ventures 株式会社 代表取締役社長

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科 ビジネス専攻修了(MBA)。大和企業投資(株)、ウエルインベストメント(株)勤務を経て、2019年 NV Ventures(株)を設立。文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト(現科学技術振興機構・大学発新産業創出プログラム)事業プロモーター、新エネルギー・産業技術総合開発機構事業カタライザー、内閣府技術委員・アドバイザー等を歴任。大学発を中心とする技術系ベンチャー企業の支援に注力している。自己PR『大学発ベンチャー企業をはじめとする、高い技術力や斬新なビジネスモデルをもつ、シード・アーリーステージのベンチャー企業に対する事業支援を長年行なっています。ベンチャー企業の良きパートナーとして、グローバルな成長に少し

でも貢献したいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



- 三木 寛文

MK Management, Inc. 代表取締役

早稲田大学商学部卒業。モバイルインターネット領域の成長ベンチャー数社において、約 15 年の事業開発経験を持つ。特に、GREE 株式会社では初期メンバーとして入社、GREE モバイル化、大手通信事業者や各種コンテンツ企業との提携、広告宣伝部やゲームプラットフォーム事業の立ち上げ、中国事業統括など、数多くの新規事業開発、提携案件を担当する。

現在はインターネット領域全般のベンチャー支援を手がけ、数十社の経営アドバイザーを歴任。事業開発や営業戦略策定、資金調達アドバイス、人事組織設計のサポート、提携先の紹介や採用支援などをハンズオンで行う。また、Digital Health Meetup アドバイザーとして、医療/ヘルスケア領域の技術ベンチャーのビジネス支援も行う。



- 南方 郁夫  
クラウド・テン株式会社 代表取締役

大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。パナソニックで約 30 年間勤務。その間、本社 R&D 部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタル TV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。また、国際標準化、コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRM など)過去 3 回、合計 8 年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。①UC バークレー EECS 客員研究員②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップと EWS 向けソフトウェアの共同開発③米国パナソニック R&D 会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーを起業 2011 年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。



- 八重樫 馨  
i-BuC Ltd. President & CEO

ドイツ系化学企業、Hoechst（現 医薬部門は、Sanofi 社、スペシヤリティケミカルは、Clariant 社、基礎化学は、Celanese 社）で、新事業開発、半導体製造用関連機器事業の立ち上げ、日本企業との共同事業設立等を行う。

リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ Celgard Inc.（ Polypore International Inc.を経て、旭化成に売却。）のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社代表取締役社長兼務。同グループの世界最大の鉛電池用セパレーター企業 Daramic Inc. のアジ

ア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人 Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役を兼務。

シリコンバレーのナノテク企業 NanoGram Corporation の上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。同社の帝人株式会社への売却後、帝人グループのメンバーとして同社の経営に携わる。事業創造やベンチャー起業支援による産業創成の為に、仲間と共にアイ・バック株式会社を設立する。現、同社代表取締役社長、東京農工大学非常勤講師。



- 山本 辰久

ボーダレス・プランニング株式会社 代表取締役

京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。ボストン大学大学院都市計画学科修了(MCP)。横浜市役所都市計画局勤務の後、株式会社日本総合研究所総合研究部門で公的機関の主要計画立案・改革支援、企業の中期経営計画策定などとともに、ビジネスモデル特許申請も経験。この間、神戸大学大学院経営学研究科助教授として出向。2011年に起業し、境界にこだわらないボーダレスな視点から、医療、運輸、食品、製造、環境関連業界をはじめ、経営幹部・管理職らを対象とした人材育成・教育研修とともに、事業計画立案支援、海外進出支援にも取り組む。環境 NGO カーボンシンク理事。





(順不同)